

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境学習の推進				所管	環境清掃部 環境課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	247	計画事業名	環境学習の推進			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 54 環境配慮行動の促進					[事業開始] 平成12年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 東京都台東区立環境ふれあい館条例、同施行規則							
	事業対象	直接の対象 : 来館者、在勤・在学者 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	身近な環境から地球環境まで、幅広い視点からの環境学習を提供することで、環境保全に対する理解や意識の向上を図り、環境配慮型の行動へと繋げていく。									
	事業内容 [H30年度]	こども環境委員会、環境学習入門講座、環境・ごみ減量・リサイクル講演会など、子供から大人まで各世代にお応じた環境学習講座を開催した。また、環境学習室を整備・運営し、より多くの区民に環境学習の場を提供するとともに、学校・地域・職場など様々な場面で、それぞれの主体が環境学習に取り組めるよう、環境情報の提供や人材育成、交流支援を行った。									
	委託の有無	一部委託	委託内容	①環境学習入門講座 ②区民自然観察員養成講座 ③非常勤職員指導・ボランティア養成研修 ④精華公園ビオトープ調査 ⑤展示水槽管理							
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
	活動指標	環境学習講座実施回数	回	128	125	133	112	125	89.6%		
		環境講演会実施回数	回	24	22	23	23	24	95.8%		
	成果指標	環境学習講座受講者数	人	6,700	6,734	6,566	5,314	4,800	110.7%		
	決算額 (単位:千円)			H28年度		H29年度		H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)			28,531	28,642		29,049			
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			13,843	14,113		14,330			
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			944	779		898			
		総経費			44,583	43,726		44,918			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			120	78		78				
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			1,540	1,538		1,541				
	一般財源 (区負担額)			42,923	42,110		43,299				
課題及び今後の進め方	プラスチックごみの問題など、刻々と変化する環境問題に対し、展示やプログラムなどを定期的に見直ししていく必要がある。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	環境問題は、区民や事業者がその役割と責任を理解して、環境配慮行動に取り組んでいくことが大切である。地球温暖化や、プラスチックごみの環境への影響など、近年、環境問題がとりあげられている中、区民に対して行う環境学習が果たす役割は大きく、その必要性も高い。								
	効率性	3	事業の展開をNPOとの共同で実施するなど、多様な取り組みで効率化を図っており、おおむね適切である。								
	手段の適切性	3	環境保全活動団体、環境学習事業に特化した特定非営利活動法人や民間企業などの持つ専門性を生かして実施しており、手段は適切である。								
目的達成度	4	講座の後にアンケートを取り、プログラムを見直したことにより参加者のニーズにより応えることができた。更なる参加者の確保につなげるために、より参加者のニーズを捉えた内容を工夫するとともに、周知方法の見直しなど行う。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
子供から大人まで多くの区民に学習の場を提供するとともに、環境の情報を提供している。引き続き、様々な環境問題に目を向け、より多くの区民のニーズにこたえられるよう事業内容を検討する。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			